



プレスリリース

日英共同プロジェクト 「Nature Unwrapped：サウンド・オブ・ライフ IN 東京」

2021年5月18日、19日 国立能楽堂

英ロンドンのアーツセンター「Kings Place」が2020年に掲げたテーマは「Nature Unwrapped」。地球とその未来が最も差し迫った課題である今日、生物圏と生命の音に耳を傾け、自然と人間の関係や私達を取る行動を、多様な分野の芸術家と聴衆が共に考える意欲的なプログラムだ。古来より日本に伝わる自然信仰や「草木成仏」といった観念と結びつく能において、自然と人間は平等で、自然と人間の融合が違和感なく受容される。そして、能舞台は人間的な限界を乗り越えて森羅万象に開かれた生命と自然の舞台である。

2021年、「Nature Unwrapped：サウンド・オブ・ライフ IN 東京」は、「Nature Unwrapped」の一環として、西洋と日本の文化と自然観の間にある接点を探りつつ、自然と人間の関りという共通のテーマに能舞台という大自然(小宇宙)で、イギリス現代の最も創造的なアーティスト4名と一流能楽師との協働による、新たな委嘱作品を発表する。イギリスの芸術シーンの最先端で活躍する芸術家達と一流能楽師が、650年の能の伝統の時空を超えて、「自然と人間の関わり合い」をテーマに3つの委嘱作品を創造する。

5月18日

オープニングトーク 能という小宇宙(仮題):安藤礼二(多摩美術大学教授。芸術人類学、「列島祝祭論」著者)

前半 「Fianuis:スコットランド最果ての島 Rona から」 Aidan O'Rourke encounter Noh”

スコットランド最北西にある見捨てられた小さな無人島 RONA。そこで聞こえるのは風の音、鳥の声、アザラシの鳴き声。かつては小さな集落があったこの島にも自然破壊が忍び寄る。スコットランドで数々の受賞歴を持つ詩人 KATHLEEN JAMIE が島に思いを馳せた作品に、シテ方観世喜正が謡を付け、フィドル奏者 Aidan O'Rourke と一噌幸弘による新曲を奏でる。

後半

トーク② ケリス

「能と現代アートにおける鏡の表象」森羅万象

世界的に著名な現代美術家で、熱心な能の愛好家ケリス・ワイン・エバンスが、能舞台の鏡の間と能「野守」における鏡の意味をコンセプチュアルアート作品として表現する。

出演:佐野登(Sano Noboru)、一噌幸弘(Isso Yukihiro)、囃子方(Noh musicians)

5月19日

トーク③ 茂山千三郎

前半 Unclouded Moon Thick & Tight

古典“鈴之神楽” 出演:小鼓、大鼓、笛



「Unclouded Moon」(Thick & Tight の新作品)

隈なき月明りの下で自由に変容する自然と人間。BLGTQ をテーマに世界で活動するイギリスのマイム・ダンスデュオ Thick & Tight が茂山千三郎氏との R&D を経て、狂言の動きと能楽のコンセプトにインスパイアされた新作「Unclouded Moon」の世界初演。

「変幻化 Hengenka 2021」

生成流転する自然界のエネルギーの中で音楽の神様、創造の神様が出合い舞う。2017 年に国立能楽堂で初演された一噌幸弘作品の 2021 年版は、間狂言部分で Thick & Tight と茂山千三郎が、新たな舞を新演出。

出演： 観世喜正、佐野登、茂山千三郎、一噌幸弘、田邊恭次、佃良太郎、Thick & Tight, Aidan O'Rourke

〔能楽師出演者：敬称略〕 能楽師：観世喜正（観世流シテ方）、佐野登（宝生流シテ方）、茂山千三郎（大蔵流狂言方）、一噌幸弘（一噌流笛方）、田邊恭資（大倉流小鼓方）、佃良太郎（高安流 大鼓方）、桜井均（金春流太鼓方）他。

能リ・イマジンド Noh Reimagined について。

ロンドンの主要なアーツセンター Kings Place に於いて 2016 年より隔年で開催されている 2 日間の能のフェスティバル「能リ・イマジンド」(英語タイトル：Noh Reimagined) は、能の古典の魅力と能の現代における可能性を、一流の能楽師と最も創造的なイギリスの芸術家らとのコラボレーションにより展開する。現在までに 9 名の能楽師、23 名のイギリスの現代芸術家が参加、5 つの新作を初演した。2021 年は東京とロンドンで新たに 4 つの委嘱作品が世界初演される。国際能プロジェクト実行委員会が企画制作する Noh Reimagined2021 のメッセージは、各国の伝統と現代の文化、芸術を尊重しつつ、共通項を探り合いながら R&D、レジデンシーなども交えながら時間をかけてコラボレーションを展開していく。芸術家が其々の文化ルーツに内向きに留まるのではなく、外に向かって新たな可能性と表現を探っていくことは簡単ではない。しかし特にパンデミック後の社会では、国際間の文化の交流がより重要になると思われる。本プロジェクトを通じて、創造的かつ多様性にあふれる国際文化交流のひとつのモデルを実現することを目的とする。

ウェブサイト <https://noh.muarts.org.uk/>

制作：Mu:Arts, 国際能プロジェクト実行委員会、Kings Place

お問合せ

akiko@muarts.org.uk

国際能プロジェクト実行委員会代表 柳沢晶子